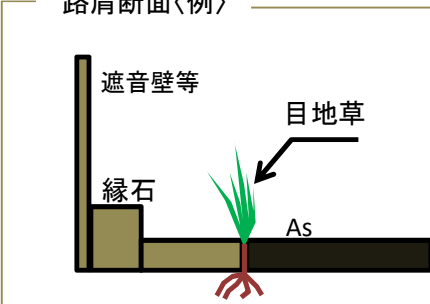


1	表題(課題)名	温水による除草の効果について	
2	工事(業務)名	R3-5新潟国道道路維持作業	
3	受注者名	北陸パブリックメンテナンス(株)	
4	工 期	令和3年12月1日 ~ 令和5年11月30日	
5	担当技術者(立場)名	監理技術者	(あべ たかあき) 阿部 剛昭
6	担当主任監督(調査)員	新潟維持出張所長	
7	課題区分名	⑨その他 (試験施工)	
8	工事(業務)概要	道路清掃工 1式	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
路肩の隙間から生えてくる「目地草」は繁茂してくると視認性や景観に影響し、放置すると車や歩行者の通行障害となる場合があり、安全な道路を維持するうえでは処理を行う必要がある。 今回の課題は目地草の処理方法について、試験施工を行うものである。			
10	【実 施 内 容】		
(1) 目地草とは 構造物の隙間から生えてくる草のこと。 右図は路肩エプロンCoとアスファルトの継目から生えている目地草。 土砂が溜まって生える草よりも根が深く強い。 路肩断面<例>  路肩現況写真  (2) 処理方法 従来方法：刈払機やスコップ等で処理する方法 処理作業  処理完了(R4.6月)  1ヶ月後(R4.7月)また生えてきている  〈検討〉 従来方法では繰返しになり、すぐ元通り。 別の方法はないか？ ➡ 「温水除草」による除草方法を試験的に施工してみる。 (3) 温水除草のしくみ・温水高圧洗浄機 ・植物の根に高温水をかけてタンパク質の構造を変えることで植物を枯らすというしくみ。 ・ボイラー加熱で水を沸騰させてノズル先端で約100℃近い熱湯を吐出できるもの。 (メーカーカタログ記載より) 温水高圧洗浄機  実際の装備<水タンク等> 			

(様式—2)

【実施内容等】

(4) 試験施工

確認事項1 温水で草が枯れるのか？

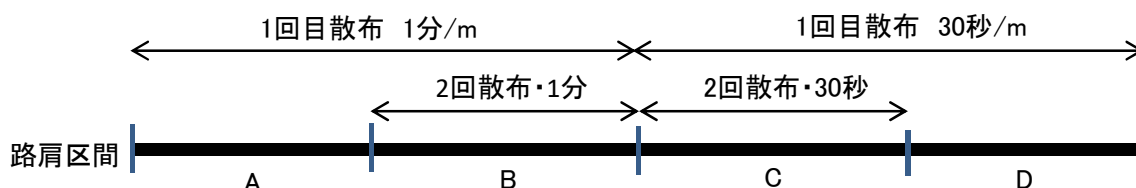
7月：1回目散布



5日後：目地草が変色して枯れていた



確認事項2 散布時間を1分/mと30秒/m区間に分けて目地草に散布。また1回散布、2回散布区間に分け、4パターン区分して、どのパターンが有効か比較した。



8月：1回目散布後 約1カ月経過の状態

A・B区間：ほぼ枯れた状態 C・D区間：枯草と緑色の草が混在



8月：2回目散布

B・C区間



9月：2回目散布後 約1カ月後の各区間の状態【草色・草丈】

A【茶色・緑色 草丈3cm】

B【茶色 草丈3cm】

C【茶色・緑色 草丈3cm】

D【緑色 草丈10cm】



同時期の温水未施工箇所の状態



右の写真は同じ時期の温水未施工箇所。

草丈が30cm程度で繁茂している状態となっていた。



温水散布箇所と比較すると、散布した箇所は一定の効果が確認できる。

11 【実施結果】

1. 1回目散布により、まずは大前提となる「枯れるのか」ということに対して温水散布後、雑草は枯れた状態となったことを確認した。
2. 8月（約1カ月後）の状態では1分散布と30秒散布で枯れた状態に違いがあり、1分散布がより枯れた状態が継続していた。また、9月の状態から、2回散布箇所ではさらに枯れた状態が続いていることが確認できた。

まとめ：上記より今回試験施工の結果、雑草は完全に枯れてなくなるものではないが、「成長抑制」することにおいて、道路維持では有効であると考えられる。水道水を沸かしたもののなので、環境面にも配慮できることから、今後、幅広く活用できればと思う。